Europe Indicators

発表日:2021 年 6 月 17 日(木)

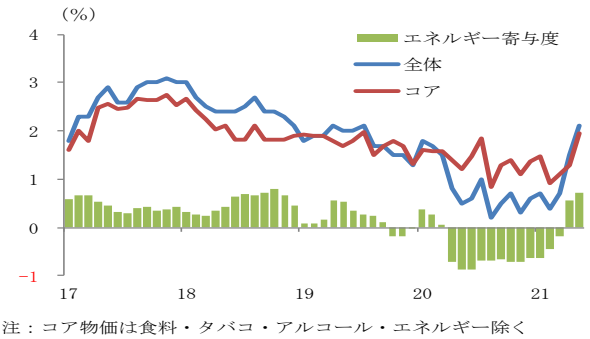
欧州経済指標コメント:５月英国消費者物価

～インフレ2%超は通過地点～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

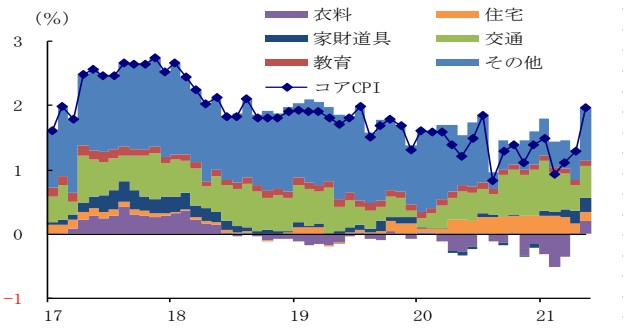
- 16日に発表された５月の英国の消費者物価は前年比＋2.1%と前月の同＋1.5%から大幅に加速し、2019年７月以来となる物価目標（２%）を上回った。食料品価格（前月：同▲0.4%→今月：同▲1.3%）の下落率が拡大、アルコール・たばこ価格（同＋2.2%→同＋1.7%）の上昇率が鈍化したものの、自動車燃料を中心にエネルギー価格（同＋7.2%→同＋9.1%）の上昇率が加速したことに加え、食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除いたコア物価（同＋1.3%→同＋2.0%）の上昇率が大幅に加速し、ヘッドライン計数を押し上げた。
- コア物価の上昇加速を牽引したのは、衣料品（同＋0.5%→同＋2.6%）、医薬品（同▲0.6%→同＋1.6%）、航空運賃（同＋1.4%→同＋2.0%）、娯楽（同＋0.7%→同＋2.0%）、外食（同＋0.6%→同＋1.4%）、宝飾（同＋0.2%→同＋3.0%）など。衣料品価格の上振れは前月同様に、オンライン販売需要を喚起するため昨年春に大幅値下げを行った反動や、小売店舗の営業停止でセール時期などの季節パターンが例年とずれている可能性がある。経済活動再開が航空運賃、娯楽、外食の価格上昇につながった模様だが、５月17日の第三段階の行動制限緩和を十分に反映していない公算が高く（物価統計は月央に調査）、来月以降に一段と上昇が加速するとみられる。原油高が遅れて反映される光熱料金の上昇継続や、飲食・宿泊・娯楽を対象としたＶＡＴの軽減措置が９月末で終了することもあり、年後半の消費者物価は３%に向けて上昇が加速しよう。

■英国：消費者物価の推移（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
出所：英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2020 2Q	3Q	4Q	2021 1Q	2020 8月	9月	10月	11月	12月	2021 1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価	(前期比)	0.0	0.4	0.1	0.1	-0.4	0.4	-0.0	-0.1	0.3	-0.2	0.1	0.3	0.6	0.6
	(前年比)	0.6	0.6	0.5	0.6	0.2	0.5	0.7	0.3	0.6	0.7	0.4	0.7	1.5	2.1
コア消費者物価	(前年比)	1.4	1.3	1.3	1.2	0.8	1.3	1.4	1.1	1.4	1.5	0.9	1.1	1.3	2.0
食料品	(前年比)	1.4	0.3	-0.5	-0.9	0.4	-0.1	0.6	-0.6	-1.4	-0.7	-0.6	-1.4	-0.4	-1.3
アルコール	(前年比)	2.0	0.8	0.5	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	1.2	0.3	-0.2	0.8	0.8	0.2
たばこ	(前年比)	2.6	3.5	4.3	5.1	3.6	3.8	3.7	3.6	5.8	5.9	5.7	3.6	3.3	2.9
エネルギー	(前年比)	-10.7	-8.9	-9.1	-5.6	-8.9	-8.6	-9.4	-9.4	-8.4	-8.4	-5.9	-2.5	7.4	9.4
住宅用燃料	(前年比)	-6.8	-6.7	-8.7	-7.9	-6.7	-6.8	-8.8	-8.8	-8.5	-8.4	-7.9	-7.3	2.4	2.6
自動車燃料	(前年比)	-15.1	-11.3	-9.5	-2.9	-11.4	-10.6	-10.2	-10.0	-8.3	-8.2	-3.5	3.5	13.6	17.9

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。